

被災地の消防官として

平成17年卒 鈴木（木村）友香



「生まれ育った石巻を、私が守りたい。」そう志して、私は高校卒業と同時に、消防官になりました。石巻広域消防本部発足以来、初めての女性消防官として、火災現場や救急現場などで様々な活動を経験し、現在は消防本部予防課で、火災予防の業務を行っています。石巻女子高等学校時代はバスケットボール部に所属

し、部活動に明け暮れる毎日でした。仲間と共にチームワークを学び、先輩からは礼節を学び、恩師からは諦めない心を学びました。負けず嫌いで責任感の強い性格は、その頃に培われたものであると確信できます。

女子高から突然男性社会に飛び込み、始めのうちはコミュニケーションや職場環境に慣れるため苦労はしたものの、職員の方々の柄や、地域を守る消防官としての士気の高さに感銘を受け、私は女性としてどんな消防官を目指すのか、日々模索する毎日でした。そんな中、平成23年に東

不眠不休の救助活動を行いました。疲労と不安、そして恐怖で押し潰されそうになるのを必死に堪え、助けをもとめる声を頼りに、無我夢中で活動したことを覚えていています。とても心細く、辛い活動でした。そんな時、ふと携帯電話に目を向けると、石女時代の友人や先輩、恩師から、私の安否を気遣う内容のメールや着信が、数えきれないほど入っていました。それを見たときに感じた、「一人じゃない」という心強さは、暗闇を照らす一筋の光となりました。石女で過ごした大切な日々と、そこで出会った方々は、今でも私の宝物です。現在は、現場活動

日本大震災がありました。私の家は津波で全壊し、家族の安否も分からぬまま、

